

# 青年海外協力隊派遣現職教員の現況 および家庭科教育支援に関するサモア 現地調査

2007年4月13日 ver.2 このスライドは、報告会の一部のスライドを  
使って再構成したものです。(禁 無断転載)

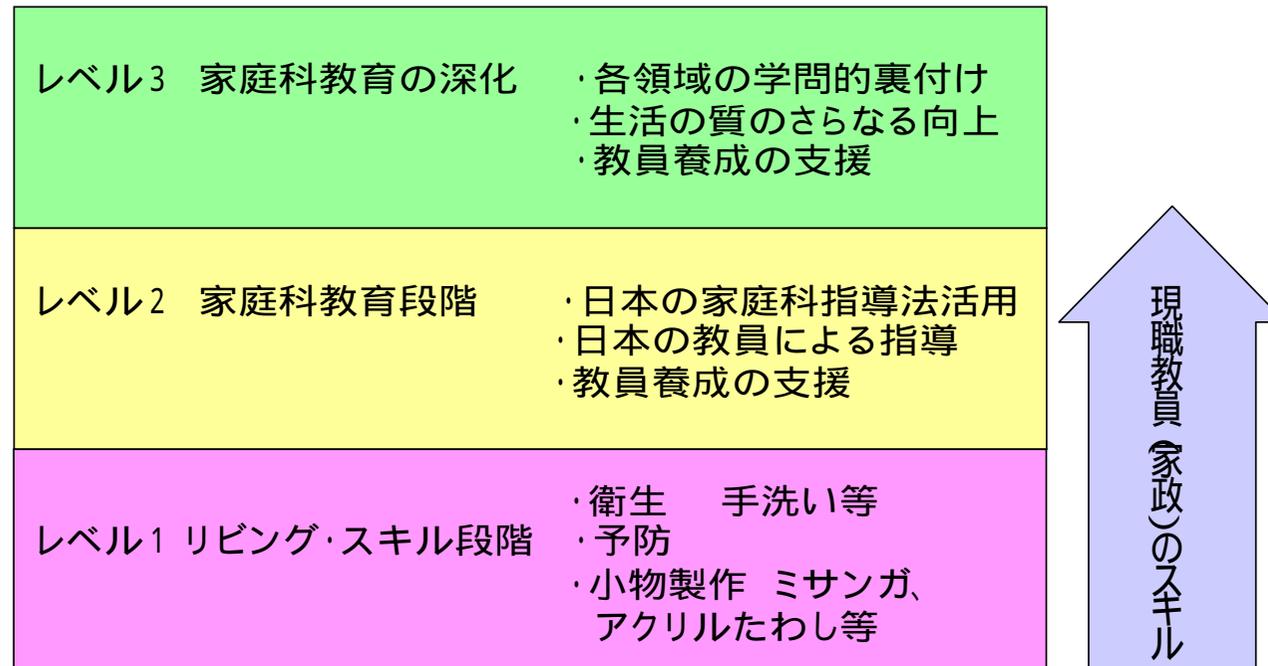
日本女子大学 家政学部

内野紀子 (児童学科)

飯田文子 (食物学科)

平田京子 (住居学科)

# リビングスキルと家庭科教育の範囲の定義

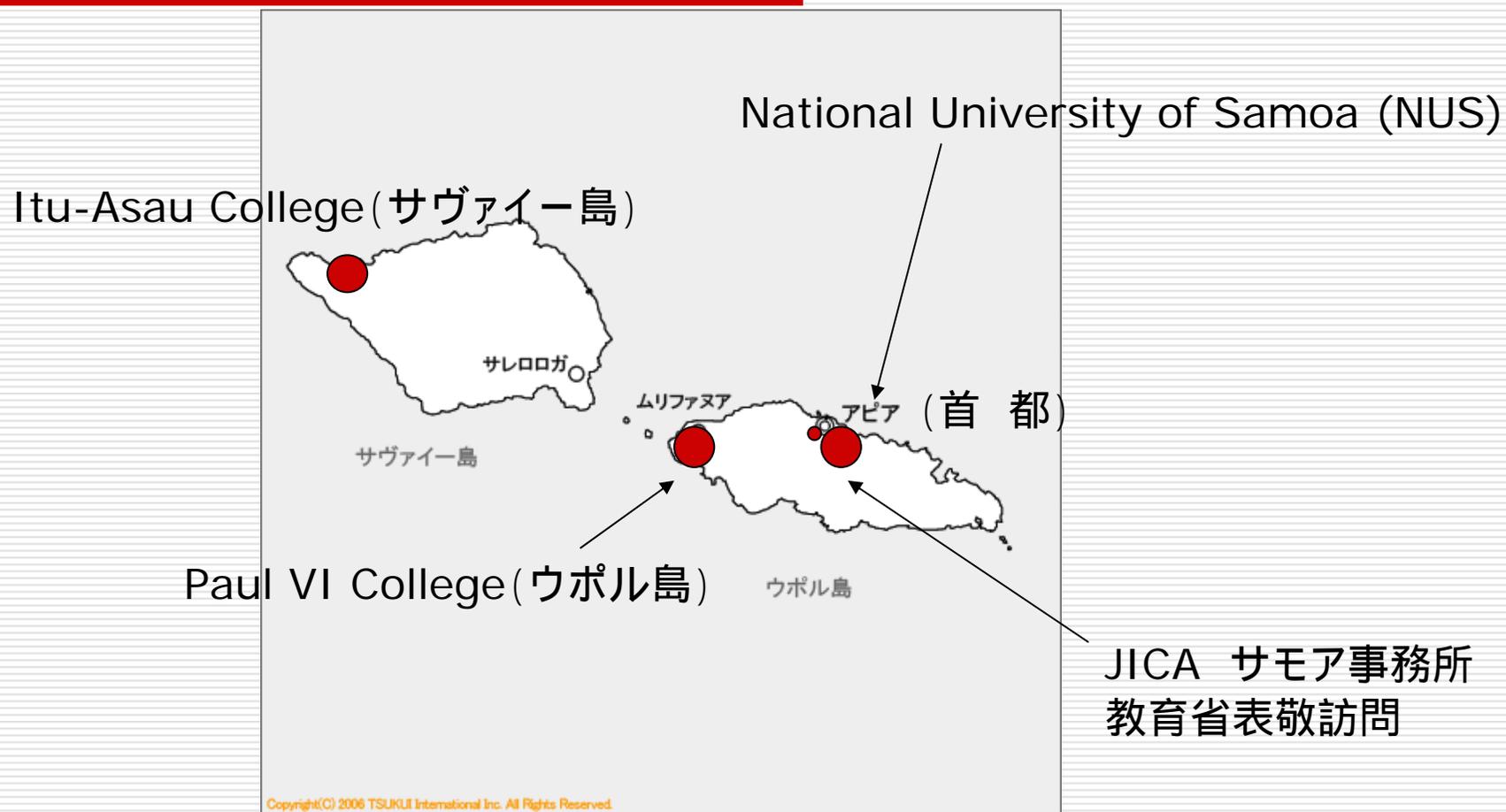


国の状況による家庭科教育レベルと現職隊員のスキルの関係

# 調查日程

Date	Activities
Mar 12 (Mon)	Arrive at Faleolo International Airport
	Check-in
Mar 13 (Tue)	Meet and talk with VC
	Meet and talk with VC
	Courtesy call to MESC
	Meet with ACEO/CMAD
	Visit Paul VI College
	Lunch
	Ferry (Mulifanua – Salelologa)
	Arrive at Asau
Mar 14 (Wed)	Visit Asau College
	Leave Asau for Salelologa
	Short Stop at Two Local Colleges
	Ferry (Salelologa – Mulifanua)
	Return to Apia
Mar 15 (Thu)	Visit NUS
	Meeting with volunteers
	Lunch
	Report to JICA
	Hotel Check-out
Mar 16 (Fri)	Depart Falelolo International Airport
Mar 17 (Sat)	Arrive at Narita International Airport

# サモアでの調査・訪問先



JICA サモア事務所  
教育省表敬訪問

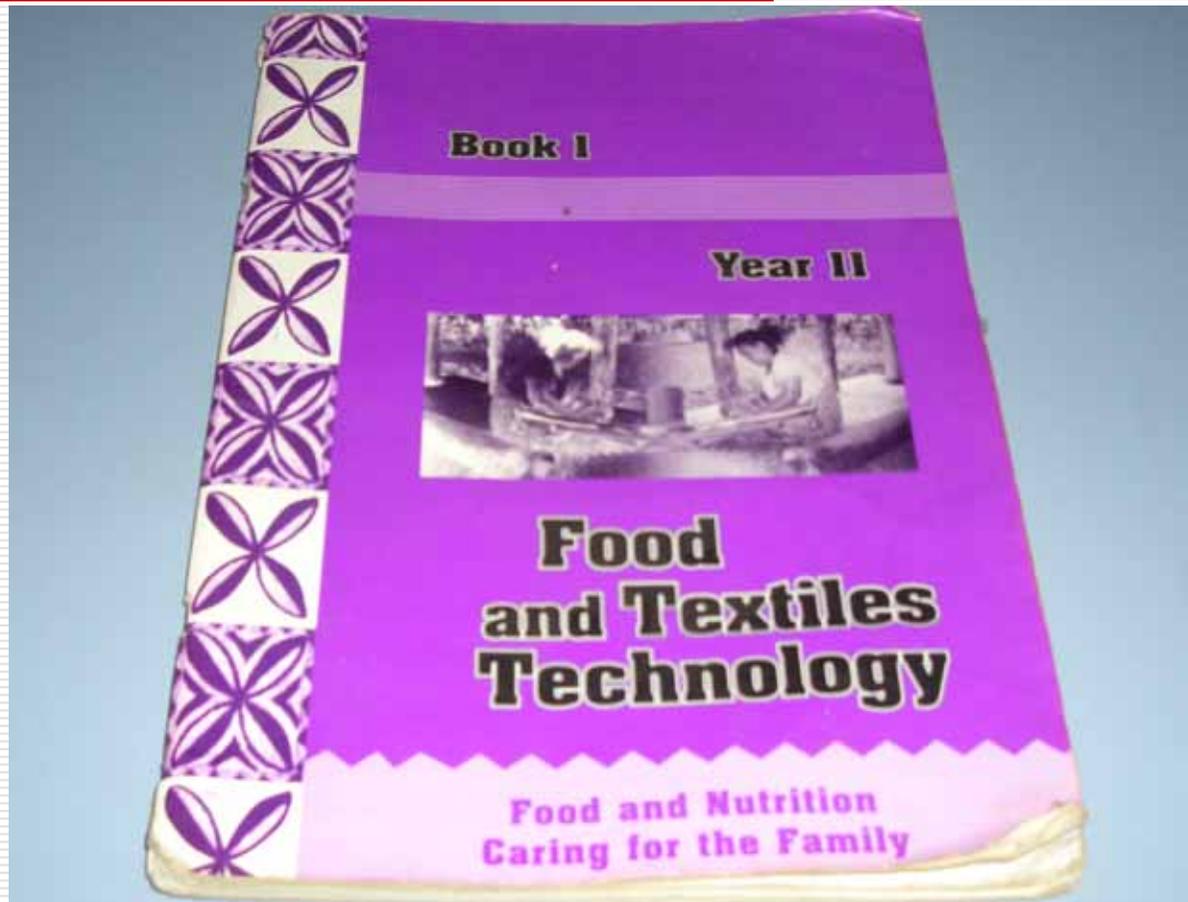
# サモアにおける家庭科教育

---

- 初等教育(1～8年生)、中等教育(9～13年生)という学校教育の体系  
～ JICAのサモアにおける基本設計概要表より
  - 2000年から選択科目として家庭科が教育課程に組み込まれた
  - 家庭科は中等教育で行われ、授業は家庭科室で行われている。  
教科書は共同のもの
  - 授業は50分で、教室移動も含めた時間であるため実質はもっと少ない。週或いは年間の時間数は決まっていない
  - 授業は黒板と、模造紙に書いた資料を活用することが多く、視聴覚的な教材はなく、その設備もないのが現状である。ワークシートなどを使うことも少ない
-

# 教科書(year 11)

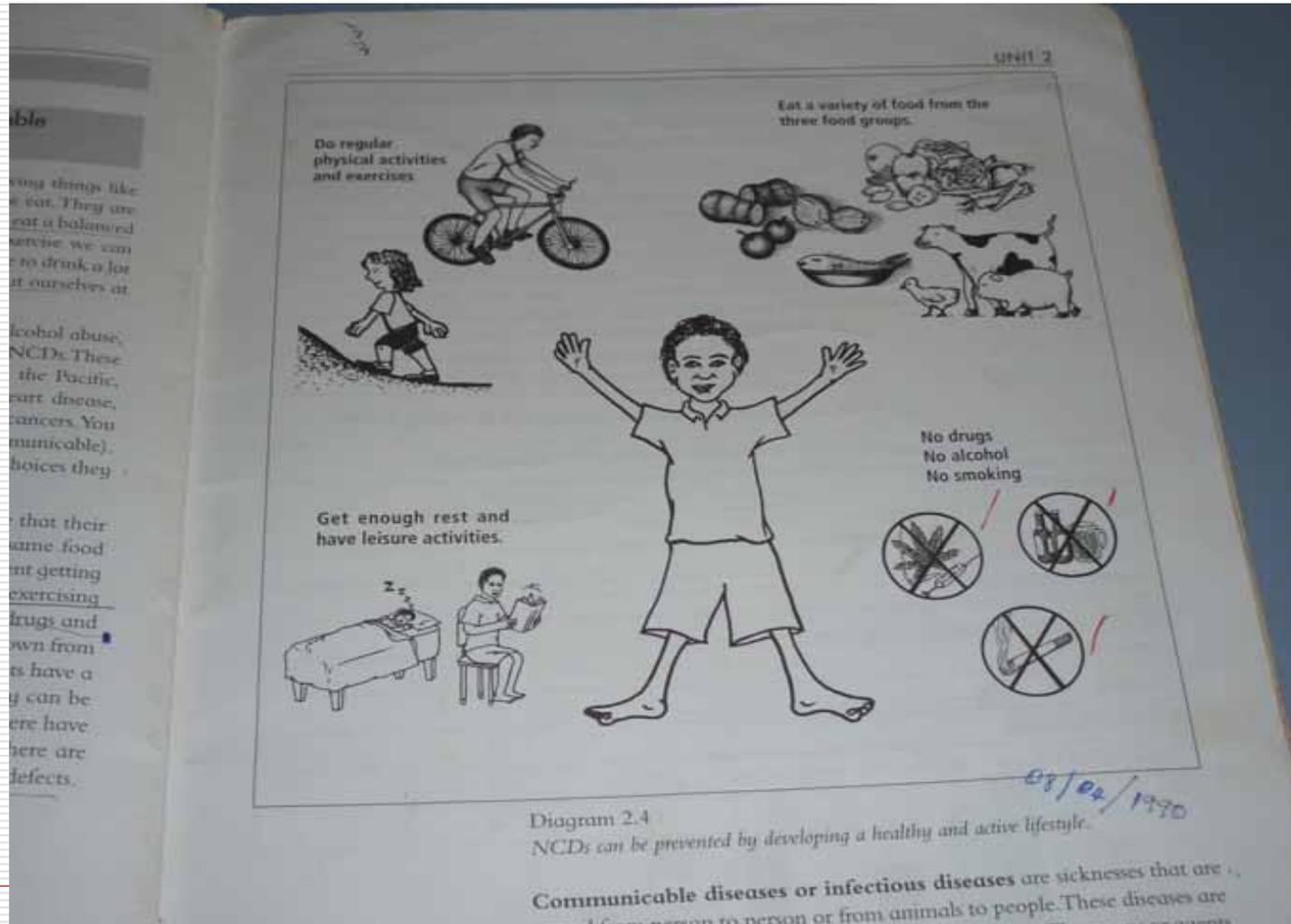
---



---

ニュージーランドの内容を使用

# 教科書



# Paul VI College

---



# Paul VI College

---



# 家庭科の施設・設備



# サヴァイー島とアサウ・カレッジ

Itu-Asau College (サヴァイー島)



Copyright(C) 2006 TSUKUI International Inc. All Rights Reserved.

# サヴァイー島までの風土とフェリー



ウポル島の海岸



ウポル島をのぞむ

# 首都アピアよりも伝統的生活様式が残るサヴァイー島



- ・寝殿造りのように、1室が独立した建物  
屋根はあるが、壁はない
- ・家の中心となるファレ(家族の居間・食堂・寝室、集会所もある)
- ・先祖を入口で大切に祀る
- ・シャワーは屋外で風呂なし
- ・台所は別棟
- ・トイレは外の小屋
- ・馬、豚、鶏などを飼育

# 島の様子

---



# Itu-Asau College アサウ・カレッジ

---



# 技術科の特徴と抱える問題点

---

- 木工を中心に実習
  - 施設・設備が不十分であったものを日本の隊員が整備している状況
  - 貴重なものは鍵付き棚で管理している、主に教員が勝手に借り、返却されないため、生徒の実習が成立しなくなってしまう
  - 道具の単位がまちまち、教科書が高度だが技術力がついていけない
  - 道具の管理・整理整頓が苦手
-

# 家庭科実習教室の設備

---



---

ミシンは日本からの支援、電気コンセントも引いた、ガスコンロ(支援)は2台で使用不能



鍵のかかった道具棚

---

コンセント、水道

家庭科実習用の粉  
家庭用コンロ  
生徒用ゴザ

---





持ち帰れない教科書



環境教育・世界の建築の掲示



すたれた端切れリサイクル



水道



教室に生えて枯れたきのこ



ケロシン(炊事用石油)コンロ

# 授業での実習

---



# 授業での隊員指導の様子

---



---

生徒8名が染色実習を行っていた

# 授業での染色実習

---



# 家庭科の特徴・問題点

---

- 設備はJICA予算により購入され、最低限はそろっているが、使用不能なガスコンロなど、実習のために苦労がある
  - 実習が大学入試のための試験に当てられる(全国統一の実習・配点・高校教員採点)
  - カウンターパートが不在、技術は低く、現地の伝統を生かした隊員による指導が効果的、現地の材料を活用した授業を展開
  - 教員からのコミュニケーションは良好、生徒は自発的によく動くが、概して道具の扱いは粗雑
-

# サモア国立大学教育学部 (NUS)

Faculty of Education, National University of Samoa

---



# 国内では先端的な施設・設備 (JICA 支援)



# 教員養成機関としてのNUS

---

- 詳細な視察ではないが、教員養成のための指導体制・技術伝達力は十分とはいえない
    - 教員の不足、言語の問題と実習人数、自国の教員による指導がないこと、急な人事交代による閉講など学生へのしわ寄せ
  - カリキュラムにおける学習到達目標の明確化が必要
  - 教育しても移民申請が通った場合、国外流出してしまうこと、自国出身者のモチベーションを高める工夫が必要
  - 家政学に関する研究・調査機関としての役割
-

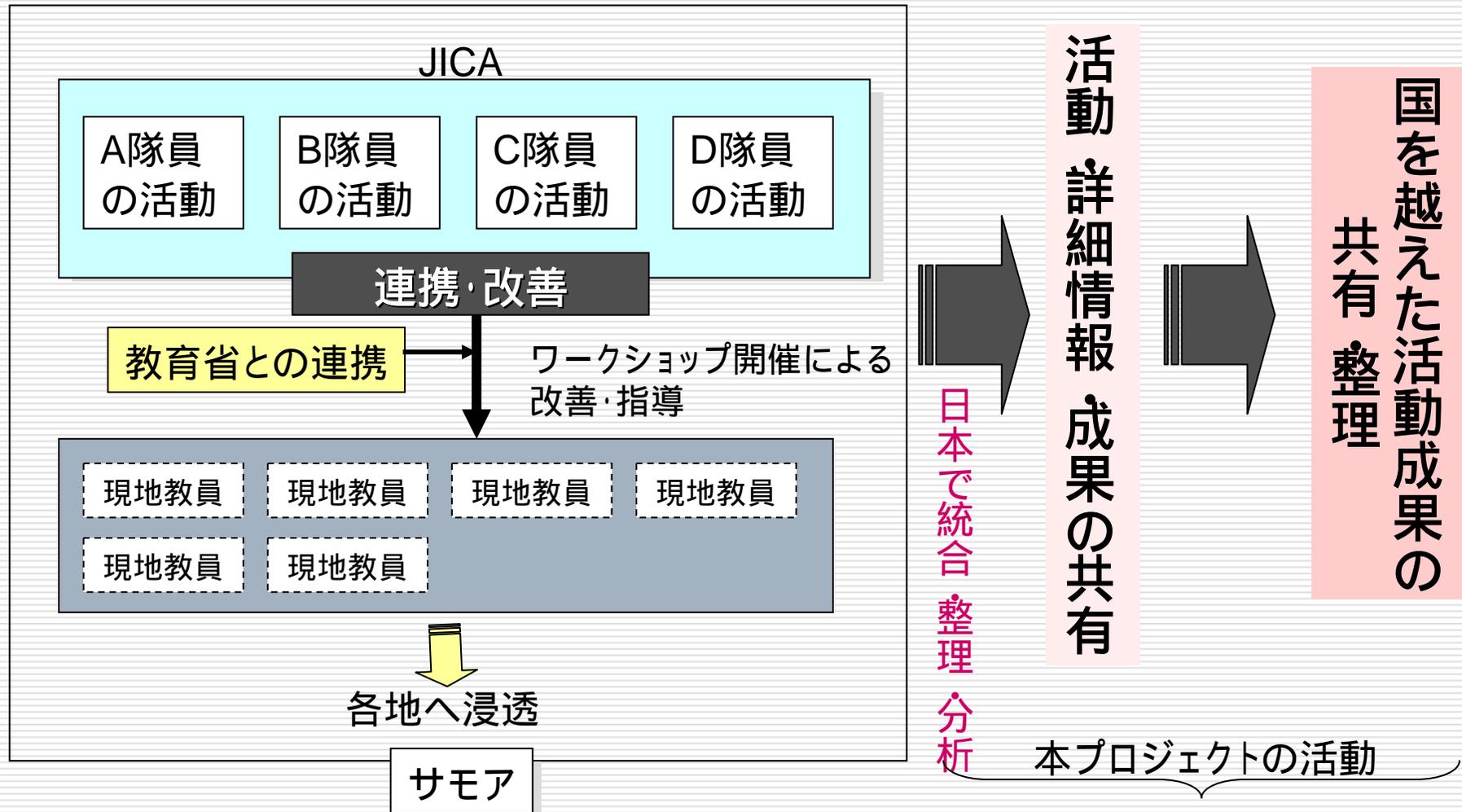
# 現地隊員からのヒアリング

---



# 隊員のニーズ調査より

## □連携やネットワーク化された支援の必要性



# サモアの生活状況・ゴミ処理

---

ゴミ置き場は地上1.5mくらいのところにあり、野犬に荒らされるのを防いでいる。  
遠くにみえるのがファレ(集会場)、右はバナナ(裏庭に大抵植えられている)



# サモアの衣生活



伝統的なダンス(ホテルでの舞踏)

# サモアの食生活

台所は男性中心の場

日本のインスタントラーメンを加工した食事

炭火のコンロ

家庭のコンロに当たるもの



# 市場の食材



市場での庶民の夕食



# サモアの住生活



屋外シャワー



# 謝辞

---

- 文部科学省
- JICA本部およびJICA顧問諸氏
- JICAサモア事務所
- サモアに派遣されているJOCV,SVの皆様

多くのご協力・ご助言に深く感謝します。  
写真はJICAサモア事務所です。

---